

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

●この説明書は、施工後、施主様にお渡しください。

■取付け順序

※戸先錠ケースを先に取付けてください。

- ①戸先内錠の錠連結部を戸先錠ケースのスライダの穴に差込みます。
- ②下部溝がアルミ型材に引っ掛かるまで下方にスライドします。
- ③取付けねじ(M4×16頭部色付き)で固定します。
- ④シリンダー座を「上」刻印を上にして戸先内錠のシリンダー筒の突起部にはめ込みます。

※上下逆に取付けると破損のおそれがあります。

- ⑤サムターン部に差込んである短冊を破れないように外します。

※戸先錠ケースの取付封印シールは、戸先錠、引手(把手)を取付け後におはがしください。

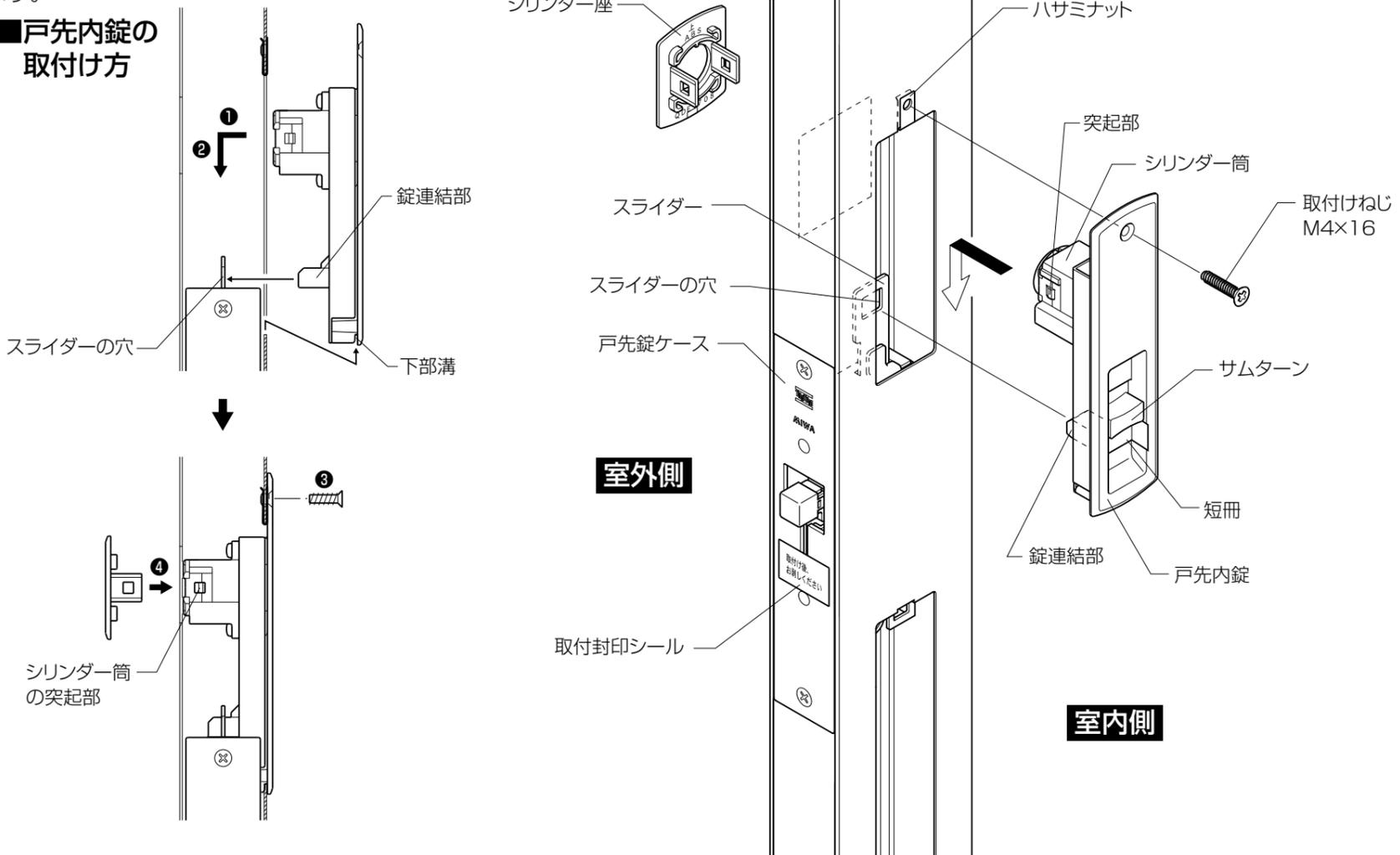
※断熱玄関引戸PGシリーズおよび玄関引戸k6シリーズの4枚建ての合掌部は戸先錠と同一品で取付け方も同じです。

ただし、4枚建ての内障子の縦框室外側にはシリンダー座はありません。

※断熱玄関引戸PGシリーズおよび玄関引戸k6シリーズの戸先内錠には、シリンダー付きとシリンダーなしがありますが、外障子、内障子どちらの縦框にも取付け可能です。

※断熱玄関引戸PGシリーズおよび玄関引戸k6シリーズのシリンダー座には、シリンダー付用の穴があいたものとシリンダーなし用の穴があいていないものがあります。

■戸先内錠の取付け方

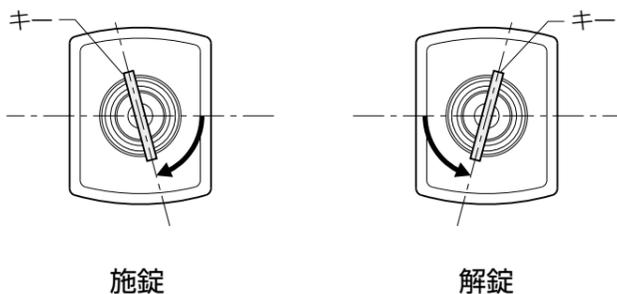


■施解錠操作方法

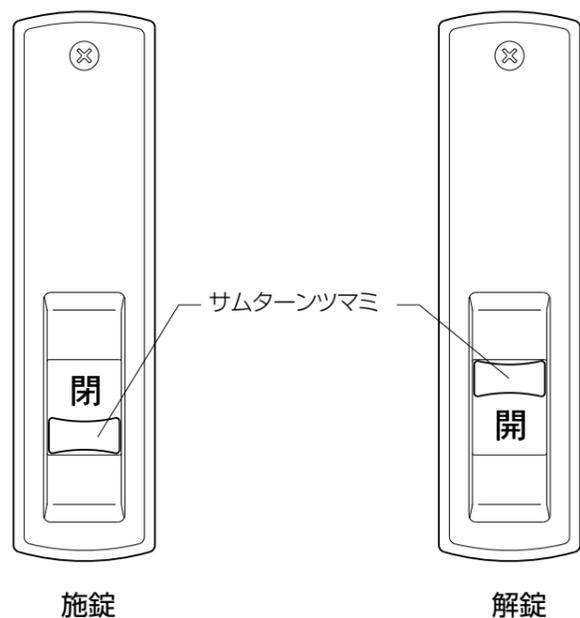
※本錠は、安全装置付きのため、障子が閉まった状態でないとサムターンの「開」「閉」操作はできません。

※本錠は調整が不要です。建付け調整をするだけで、施解錠操作ができます。

室外(キー操作)



室内(サムターンつまみ操作)



※本錠は調整不要の機構を採用しており、戸先のチリ(枠と障子のすき間)が大きくても施解錠操作ができます。

施錠後に一度障子を閉め方向に動かすと、最適チリの状態で止まります。

お願い

※使用中に「キーが回しにくい」「キーの抜き差しに引っ掛かりがある」などの症状があらわれた場合は、別売の専用鍵穴用パウダー潤滑剤をご使用いただくと改善することがあります。

※又、その場合は市販のスプレー式潤滑油をはじめとする機械潤滑用油脂類などは絶対に使用しないでください。